

映画観賞会『ひまわりと子犬の7日間』

スクリーンとプロジェクターを使用した、大画面上映でした！

太陽デイケアでは、プロジェクターを使用し、大画面で映画の上映会を行いました。
今回は、愛するペットとの思い出や心のつながりを共有し、共感できる場を提供することを目的として、『ひまわりと子犬の7日間』を上映いたしました。

作品情報

『ひまわりと子犬の7日間』は、宮崎県の動物保護管理所で実際に起きた出来事をもとに制作された、犬の親子と職員の絆を描くヒューマンドラマです。母犬と生まれたばかりの子犬が保健所に収容され、母犬は子どもを守ろうと人を寄せつけません。職員たちはその強い母性に心を動かされ、親子が安心して暮らせる道を探していきます。作品では、保健所に収容された犬の「命の期限」という厳しい状況の中で、母犬と職員が少しずつ心を通わせていく姿が丁寧に描かれています。主演は堺雅人・中谷美紀。監督は山田洋次監督の助監督を務めてきた平松恵美子で、本作が初監督作品です。キャッチコピーは「命の期限は7日間。ぼくたちは奇跡を起こす。ただ、愛の力で——」とされ、深いテーマ性を持つ作品として知られています。

今回の上映作品は、デイケアをご利用されている方々の多くがペットを飼われていた経験をお持ちであることから選定いたしました。上映中は、涙を流される方が多く見受けられ、犬との絆や思い出がスクリーンを通してご利用者様の心に深く響いている様子が伝わってまいりました。鑑賞後には、「昔飼っていた犬と重なる部分が多かった」「とても良い映画だった」といったお声をいただき、最後には自然と拍手が起こるほど、心に残る時間となりました。

今回の上映会を通じて、映画は単なる娯楽ではなく、ご利用者様同士の心の交流を生み出す大切なツールであることを改めて実感いたしました。今後も、さまざまな作品を通じて、皆さまの心に深く残る体験を提供し続けてまいりたいと存じます。



画像引用：『松竹』WEB 作品データベース

